

一切経堂の彫刻と輪蔵

前 面



老来子 [正面幕股]



閔 損 閔子騫 (儒学者)



麒麟 龍



大人相撲

後 面



[馬上で矢を射る]



[寒山捨得]



[波の中]

老来子 閔 損 寒山捨得

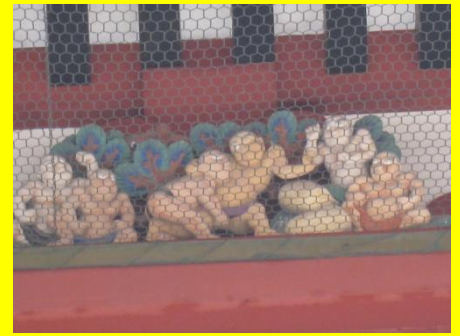
左側面 ↓



堅い木は折れる



鐵拐(てっかい)仙人



子供相撲

右側面 ↓



松に人物二人



盧敖(黄安)仙人



寝入る子

堅い木は折れる

堅い木はもろくて折れやすいように、日ごろは強情で融通が利かないような人が、何かの問題に直面して意外に簡単にくじけたりするたとえ。

また、丈夫で病気など縁のないような人が急病で倒れるたとえ。

反意語「柳に雪折れなし」

堅い物は折れやすく、壊れやすい、柔らかいもののほうがよく耐えるということのたとえ。

日ごろ頑健な人が大病にかかって急に倒れたり、普段は強情で妥協を知らない人が、いったん気力をなくすと意外に脆い面があることなどにいう。類語として、木強ければ則ち折る。

堅いものはわれる。柳に雪折れなし。柔よく剛を制す

鐵拐仙人(てっかいせんじん)

李鉄拐(り てっかい)は、八仙の一人です。鉄の杖(拐)をついて歩いたとの言い伝えから「鉄拐」の名前が付いたといわれています。中国では医薬の神様とされています。逸話としては、ある日、魂だけを別の世界に出かけさせ、鉄拐の弟子に「七日経って戻ってこなければ焼いてよい」と告げました。6日目、弟子の母が病気になり、弟子は鉄拐先生の体を焼いて母の元へ行きました。7日目に鉄拐先生の魂が戻ってきたものの、体は既に焼かれて無く、仕方なく付近にあった乞食の死体に入りました。このため曳山の鉄拐仙人の意匠は、ボロボロの衣・蓬髪・髯が伸びた汚れた顔となっています。

盧敖(黄安)仙人(ろこうせんじん) 本当の名前は黄安仙人らしい。

身の丈三尺程の亀に乗っていて、その亀は三千年に一度だけ頭を出す。

ある人が仙人に聞きました。「亀は今までに何回頭を出した」と訪ねると、「5回出した」と答えたそうです。と云う事は、この仙人は最低一万五千年生きていた事に成る。

仙人とは

中国の道教に出てくる人物で、山奥や仙島や天上などの仙郷に暮らし、仙術を操り、不老不死を得たとされます。仙術を得た道教の修行者である「道士」が仙人と呼ばれる。



## 八 仙とは

道教の仙人のなかでも代表的な下記の八人の仙人

李鉄拐 (りてっかい) 又は鉄拐李 漢鍾離 (かんしょうり) 又は鍾離権 (しょうりけん)  
呂洞賓 (りょどうひん) 藍采和 (らんさいか) 韓湘子 (かんしょうし) 何仙姑 (かせんこ)  
張果老 (ちょうかろう) 曹国舅 (そうこっきゅう)

## 輪 蔵



傳大士が 1500 年ほど前に  
発明した輪蔵

何故かこの面は真黒である

成田山の輪蔵内部には  
2,000 冊のお経が収納されている

八角形の輪蔵は十六面の観音扉には十二神将と四天王が描かれている。

八面にある扉の内一面の両扉二枚は真黒である。修理ミスか？

この面は後方に回している為、通常見ることが出来ない。



普成 (次男) 傳大士 普建 (長男)

賓頭盧尊者像

中国で仏教を広めるために尽くした傳大士(497年～569年)とふけん、ふじょう父子の像です。  
転輪蔵を創始した傳大士 (ふだいし) は 経典の守護者とか「笑い仏」と呼ばれている。

左側奥に安置されているのは賓頭盧尊者像(びんずるそんじゃぞう)撫で仏です。  
善光寺の様に参拝者が撫でることが出来るような場所に奉安して欲しいものです。